

第7回 第3次小牧市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会 議事要旨

日 時	平成29年3月29日(水) 10時～10時40分
場 所	小牧市役所本庁舎 3階 301会議室
出席者	<p>【委員】(名簿順)</p> <p>柴田 謙治 金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科教授 大西 良雄 小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会篠岡地区会長 前田 光咲子 元小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会北里地区副会長 成瀬 善男 藤栄シニアクラブ代表 松浦 詩子 小牧市ボランティア連絡会代表 羽飼 憲次 小牧市障害者相談支援事業所ふれあい総合相談支援センター相談支援専門員 長江 啓司 小牧市小中学校校長会 桃ヶ丘小学校校長 鳥居 由香里 こまき市民活動ネットワーク理事 松浦 早苗 保健連絡員代表 深堀 眞喜子 小牧ケアサービス まごころ会長 大杉 富孝 一寸奉仕こまき代表 森 健一郎 小牧市社会福祉協議会 地域支え合い推進員 花村 琴美 公募市民 桑山 美知代 公募市民</p> <p>【欠席委員】</p> <p>佐藤 政明 小牧巾下区長会会長 鈴木 道子 北里地域包括支援センター ゆうあい管理者</p> <p>【事務局】</p> <p>江口 幸全 健康福祉部 福祉総務課長 倉地 昌孝 健康福祉部 福祉総務課庶務係長 田中 秀治 社会福祉法人小牧市社会福祉協議会地域福祉課長</p>
傍聴者	0名
配付資料	資料1 第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画案

主な内容

<p>1. 開会</p> <p>(1) あいさつ(柴田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末の忙しいなか、お集まりいただき、ありがとうございます。 ・ 平成27年11月以降、7回にわたって3次計画のご審議をいただいた。 ・ 3次計画では、人の資源を上手く活かし、小牧の地域福祉が更に進むものになるものとする。 ・ 本日も議事進行にご協力をお願いしたい。 <p>2. 議題</p> <p>(1) パブリックコメントの実施結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、パブリックコメントの実施内容について、説明。 ・ 実施期間としては、平成29年2月16日(木)から3月17日(金)。 ・ 計画案の閲覧場所については、市ホームページ、福祉総務課、情報公開コーナー(本庁舎1階)、東部・味岡・北里の各市民センター、都市センター、南部コミュニティセンター、西部コミュニティセンターとさせていただいた。 ・ 実施結果としては、寄せられた意見が無かった旨の説明。

(2) 第3次小牧市地域福祉計画及び地域福祉活動計画最終案について

- ・ 事務局より、資料1に基づき説明。

大西委員)

- ・ 計画は出来た。今後、どのように地域福祉活動を展開していくかが課題になると思う。
- ・ 市及び社会福祉協議会の地域支え合い推進員と協力しながら進めたい。

前田委員)

- ・ 非常に良い計画になったと思う。この計画をどのように活用していくかが重要である。
- ・ 地域における福祉のネットワークは本当に必要だと思っている。一住民として、いろいろな方々との連携が出来ればよいと思っている。

成瀬委員)

- ・ 老人会の一員として、参加したが、非常に勉強になった。地域に還元していきたい。

松浦(詩)委員)

- ・ ボランティアの中で、計画を使った勉強会などを開催したいと思っている。
- ・ 地域住民、皆さんがこの計画を知り、出来ることを実践することが大切だと思う。

大杉委員)

- ・ 計画のキーワード「助け合いの輪」は非常に共感している。
- ・ 先日、居場所ボランティア養成講座を開催し、新たに居場所を始めたいという方も出てきた。
- ・ 今後は、「助け合いの輪」をいかに広げていけるかが課題である。
- ・ 昨日も、地域支え合い推進員と話をしていたが、「助け合いの輪」を広げていくための人材養成講座などを、地域支え合い推進員と協力して実現できればと思っている。

長江委員)

- ・ 今後の地域を支えていく人材教育、心を育む教育を展開したい。
- ・ 今は、社協の協力を得ながら、実践しているが、心を育んでいるか分からない。
- ・ 小学生は、福祉の心を育み、中学生は外に出て行く機会も多く、様々な活動を実践してもらえるとよいと思っている。

森委員)

- ・ 計画に基づき、地域の動きをどのように展開するかが課題となる。
- ・ 5年後、この計画が活かされたものになるよう努力したい。

桑山委員)

- ・ 計画策定を通して、非常に勉強になった。
- ・ 自分自身の変化としては、“地域福祉”という言葉に敏感になったことである。
- ・ 今後は、知り合いなどに広めていきたい。

花村委員)

- ・ 委員会での説明を聞くと、理解はできるが、知らないことが多かった。
- ・ この計画を地域の方、皆さんが知る機会があるとよいと思う。

深堀委員)

- ・ 策定に携わったことで、横のつながりが出来たことが非常に良かった。
- ・ 自分達は、介護保険制度では対応できない、制度の狭間のサービスを実施している。最近、障害者の方の支援もさせていただいている。
- ・ 計画内に、自分たちの取り組みを載せていただいたこともあり、充実化していきたい。

松浦(早)委員)

- ・ これまでは、「他人事」であった部分もあったが、「我が事」として仲間と実践できればよいと思う。

鳥居委員)

- ・ 市民活動ネットワークとして参加した。市民活動センターの役割を位置づけていただいたことは非常に感謝している。
- ・ 今後は、テーマを地域の福祉に絞って、話し合いを持てる場を設けていけると良いと思っている。
- ・ 防災に関しても、様々な意見を述べたが、地域住民のつながりこそが災害が起きた際には必要であることについて、訓練を通して、実践していければと思っている。

羽飼委員)

- ・ 障害相談支援事業所の代表として参加させていただいた。
- ・ 専門職の立場として、地域の皆さんにお助けいただくことも多々あると考える。今後は、計画に沿って、より良い地域づくりが出来ればと思う。

3. その他

- ・ パブリックコメントの実施結果については、4月15日号広報に掲載する予定。
- ・ 平成29年4月の組織改正に伴い、地域福祉計画の関連業務については、「地域包括ケア推進課」が所管することになる。

4. 閉会